

【担当課：政策企画室企画部政策調査担当】

議 題	大阪府市医療戦略会議提言の具体的な取組みについて
日 時	平成26年10月15日（水）13時50分～14時40分
場 所	大阪市役所 会議室
出席者	(特別顧問・特別参与)： 上山特別顧問 (職員等)： 大阪府 戦略事業室（副理事、課長補佐、主査） 大阪市 政策企画室（政策調査担当部長、担当係長） 大阪市 福祉局（企画担当課長代理、担当係長） 大阪府市大都市局（課長代理）
論 点	・大阪府市医療戦略会議提言の戦略6「スマートエイジング・シティ」の実行に向けた取組みに対する助言について
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・提言をより具体的な内容とするための掘り下げた調査・研究を行い、「スマートエイジング・シティ戦略とは何か」を明文化し、モデルとなる考え方や事業を提示し、各市町村での取組みにつなげるべき。 ・「健康寿命の延伸」を最優先の目標に、具体的な地域をモデルとしてプランを作成することが必要ではないか。 ・次の大きく3つの段階で作業を進めてはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ① 先進事例調査、具体的地域を素材とした現状分析・課題整理 ② 現状をふまえた戦略の検討・作成 ③ 具体的な取組みの実施 有識者、先進的プレイヤー企業との勉強会やヒアリングは、各段階の作業進捗にあわせ実施する。 ・国等の関連する事業等の整理などが必要ではないか。 ・府内市町村の取組みを促すことに加え、全国に発信し、ヘルスケア関連の取組みに積極的な事業者を呼び込むことも必要ではないか。同分野への投資、参入意欲のある企業は多く、チャンスである。 <p>参考—大阪府市医療戦略会議提言 http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/19411/00000000/teigen.pdf</p>
結 論	・顧問からの助言を参考に、府市において引き続き必要な検討、作業を進める。
資 料	
関係所属	